

～蘇原・佐見地区での懇談会の後、提出された意見書より～

たくさん補助金でバスが動いていた事を知り驚きました。本当にもったいないことだったと思います。

白川口駅だとかなり利用者があるようですが、特に佐見地区は小さくてよいのでひんぱんに走ってもらえれば利用者はあがると思います。

たとえのっても帰りがなければ、車でのっていった方がいいと思ってしまいますし、今後運転できなくなる人も増えてくると思われますので、どうかいい方法を考えて頂きたいです。

途中経過でも一般の人たちにも実情を知らせてもらえるとありがたいです。

長子から今まで5年間バス通学させていただき本当に助かってました。朝1番のバスが廃止されるのはとても残念ですが、利用する方がみえないのは減便、廃止は仕方ないと思っています。この先、どうなるのか分かりませんが、佐見の住人がくらしやすいような良い案が決まればありがたいと思います。

それと、もし他の形で利用できる交通機関が決まれば佐見の方1人1人が利用するように努めていけたら良いと思います。

2月の頃から自由登校になりバスの利用もそれまでだと思います。

本当にありがとうございました。

(高校生の通学手段)

廃止になる 鹿折橋 AM6:30 → 三川友渕 AM6:49

三川友渕 PM6:50 → 鹿折橋 PM7:10

※切井鹿折橋 ←→ 三川友渕の区間に10人乗り位のワゴン車を運転

白川口駅～三川友渕の区間は黒川線を利用する

※個々の家までは送迎しない。(加茂自動車学校が行っている様な方法)

※運転手はゴミ収集車の運転手と同様な雇用の方法

(高齢者の移動手段)

現在、社協が行っている移送サービスを拡大する

そもそも、現在路線バスの利用者が少ない原因は、乗車料金、運行時間、運行本数等の問題ではない。若い人や路線バスの運行経路、バス停の近くに住んでいる人はともかく、多くの高齢者にとって乗車バス停まで歩くには大変と思われる。

路線バス運行見直しに伴う何らかの代替策を考えると、高校生の通学支援策(補助金等)はともかく、高齢者対策が必要である。今後通学や買物等の移動手段として、コミバス等の運行が考えられるが、そのとき、最初に記した利用されない原因を考えると、単に現在の路線バスと同じ運行経路であれば利便性は小さい。きめ細かい高齢者も利用しやすい運行経路を考えるべきと考える。

高齢者が100円でバスに乗れるのはありがたいが、バスの段差が大きいため足腰の弱い人は利用しづらい。リフト式にしてもらえると一番いいが、運転手さんが補助をしてくれたりするといい。そういったことも含めて会議で協議をしてもらいたい。